



《1級・2級自動車整備士養成》

新潟工業短期大学
NIIGATA COLLEGE OF TECHNOLOGY

工短の
最新トピックスを
お届けします

月刊 工短ニュース

2020-08



令和2年度 口述試験対策講座を開講しました! ~ 1級自動車整備士 ~

1級自動車整備士になるためには、『学科試験(筆記・口述)』と『実技試験』に合格する必要があります。学科試験は『四肢択一式の筆記試験』と、『対話・聞き取り方式の口述試験』に分けられています。最初に筆記試験を受けて、合格者のみ口述試験に進むことができます。実技試験は・・・もちろん新潟工業短期大学の専攻科を修了すると『免除!』になります(^)/

さて、例年5月GW明けに実施される『口述試験』ですが、今年は新型コロナウイルスの影響で大幅に遅れて8月23日に実施することに。そこで、令和2年度は夏休み期間中に『口述試験対策講座』を開講し、3月に専攻科を修了した卒業生(筆記試験合格率100%)と社会人の方々を対象にトレーニングを実施しました。

気になる昨年の出題は・・・

■問題 1→『走行中に大きな音がする』の問診の他、『保安基準適合証の有効期間』について法令でどのように定められているか質問がありました。

■問題 2→『高速走行時にハンドルが振動する』及び『左ドアミラーが格納しない』『1年定期点検整備』『日常点検整備』について整備内容説明の他、指定部品等を取り付ける際の『一定範囲』の寸法について質問がありました。全員合格めざして頑張ってください(^)/



▲本番を想定して『問診』と「整備内容説明」の模擬試験を実施

俺たちの愛車自慢 ~ ホンダ CBR 250 R (MC17) ~

今回は、自動車工業科2年生のHA君(右側:新潟県中央工業高校出身)の愛車 昭和62年式ホンダ CBR250R (MC17)を紹介します。仲良く肩を組んでいるのは、KY君(左側:日本文理高校出身)です。



▲HA君(右側)とホンダ CBR250R

バイクブーム真っ只中の1983年『250ccクラスでも4気筒を』の声に応え、満を持して登場したのが2バルブDOHC4気筒エンジンを搭載したスズキGS250FWが登場。続いて1985年に4バルブ化したヤマハFZ250 FHAZERが発売され、クォーターマルチが大ブームに(^)/ ホンダも1986年にCBR250FOURを投入。翌1987年にはCBR250Rに進化し熱いクォーターマルチ市場に殴り込みをかけました(笑)

さて、年式から想像もつかないほどGOODコンディション(^)/ 『あの頃は良かったなあ!』と感じさせてくれる1台です。エンジンも絶好調で、10000rpmを過ぎたあたりからカムギヤトレイン独特の『キーンーン!』というジェット機のようなサウンドに変わり・・・一気にレッドゾーンの18000rpmまで気持ち良く吹け上がり、ダイシナルミサウンドとのハーモニーを奏でています!(←もちろん法定速度内での話ですからね・・・)

オープンキャンパスのご案内

新潟工業短期大学では、オープンキャンパスを開催します

☆最新設備が充実!の自動車実習棟も見学できます☆

9/13

SUN



ランチ付き

開催時間 12:00~15:30【受付 11:30~】

問合せ:0120-34-1124

メール・FAX・ホームページからでもOK!

エンジンのしくみやセグウェイの原理を体験!



ホームページ

新潟工業短期大学の日常や情報をアップしています。

LINE



Twitter



YouTube



学校法人 新潟科学技術学園

新潟工業短期大学 <http://www.niigata-ct.ac.jp/>

新潟薬科大学 <http://www.nupals.ac.jp/>

新潟医療技術専門学校 <http://www.niigata-coll-mt.ac.jp/>